

「日本ネフローゼ症候群コホート研究」に関する研究のお知らせ

帝京大学ちば総合医療センターでは以下の研究を行います。

本研究は、倫理委員会の審査を受け承認された後に、関連の研究倫理指針に従って実施されるものです。

研究期間：2024年6月27日～2032年12月31日

〔研究課題〕

日本ネフローゼ症候群コホート研究(JNSCS)

〔研究目的・意義〕

「日本ネフローゼ症候群コホート研究」は、検査結果や治療について調べる事によって、1 どれくらい多くの患者さん腎機能が実際に低下していくのか、2 血圧や蛋白尿などの予後予測因子がどれくらい予後に関係しているのかを明らかにし、3 腎機能が低下して透析に至る事を予防する治療戦略を開発する事を目的とした研究です。

〔対象・研究方法〕

以下の患者さんを研究対象とします。

(a) 前向きコホート研究

2009年1月1日～2010年12月31日に帝京大学ちば総合医療センターで腎生検によって原発性ネフローゼ症候群と診断され、「日本ネフローゼ症候群コホート研究」に参加することに同意した患者さん

(b) 後ろ向きコホート研究

2021年1月1日～2025年12月31日に帝京大学ちば総合医療センターで腎生検によって原発性ネフローゼ症候群と診断された患者さん(「日本ネフローゼ症候群コホート研究」に参加することに同意されなかった患者さんは含まれません)

本研究は、診療カルテに保管されている既存の日常診療情報および腎生検の腎病理組織標本を対象にした疫学研究です。2008年1月以降の各種血液・尿・画像検査データ、入退院歴、処方薬などの治療経過や治療に伴う合併症の発症の有無などの臨床情報を電子カルテから抽出し、個人情報削除し、大学病院医療情報ネットワーク研究センター(UMIN)内 および大阪大学 REDCap のデータセンターに登録します。登録データおよび腎病理標本は、解析担当施設に提供されます。

〔研究機関名〕

帝京大学ちば総合医療センター (共同研究機関:全国で45施設)

〔個人情報の取り扱い〕

データセンターへのデータの登録は、特定の関係者以外がアクセスできない状態で行います。研究に利用する情報は、患者さんのデータ収集時に研究用IDを付与し、個人情報を削除して、研究責任者が保管・管理します。データセンターに登録されたデータは、日本ネフローゼ症候群コホート研究の運営委員会で承認された解析担当者に提供されます。

対象となる患者様で、ご自身の検査結果などの研究への使用をご承諾いただけない場合や、研究についてより詳しい内容をお知りになりたい場合は、下記の問い合わせ先までご連絡下さい。

ご協力よろしくお願い申し上げます。

問 い 合 わ せ 先

研究責任者:氏名 伊藤孝史 職名 教授

研究分担者:氏名 芦村龍一 職名 助教

所属:帝京大学ちば総合医療センター 第三内科学講座(腎臓内科)

住所:千葉県市原市姉崎 3426-3 TEL:0436-62-1211(代表) [内線 5388]